

発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880

No.815



菱野下村獅子

- ❖内容 16 新年のご挨拶／自主事業報告ほか
- 18 ぼくとわたしの作品【小諸養護学校】ほか

- 19 人ひと／俳句・短歌
- 20 **特集 小諸の敬老会**
文化会館カレンダー／講座募集



「もういくつねるとお正月」と指折り数えて待つお正月のこと。正月飾りは、29日は「二重苦」、31日は「一夜飾りは運が悪い」ので飾らない方がよい。26〜28日もしくは30日に飾る。

大掃除、餅つき、門松飾りは、神様が降りて来るための印なので心をこめて準備する。「大晦日」!!新しい年を迎える!!「一年の計は元旦にあり」というように初詣、二年詣りとお正月の行事や風習は受け継がれている。年神様は、祖霊神、田の神、山の神、または子孫繁栄、五穀豊穡と深く健康や幸福を授ける。喜びと感謝の気持ち。

「一富士、二鷹、三茄子」と昔からいわれている元旦から2日目に見る夢のこと。「富士」は無事、「鷹」は高い「茄子」はことを成すといわれ、縁起の良い語路合わせである。良い夢を見てその年を幸せにと願う。1月15日は小正月。正月飾りの終りで、松飾り、しめ縄、書き初めなどを広場に持ち寄り、豊作祈願の意味を込めてどんと焼きで燃やす。焼いた団子や餅を食べると病気をしない。また燃やした書き初めの紙が天高く昇ると字が上手になるといわれる。また、神様も煙と共に天高く昇り、無病息災を願ってくれている。まだまだ行事は盛り沢山。イベントも続きお正月休みをゆっくり過ごすには、ゆめゆめのんびりしてはいられない一年のはじまり。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。
編集委員 倉内 さよ





『公民館活動のさらなる発展願って』

小諸市教育委員会
教育長 小林 秀夫

市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、さまざまなかたちで公民館活動にかかわっていただき、ありがとうございます。

日本の長寿化はますます進み、近いうちに人生90年時代を迎えるのではないかとの声も聞かれるようになりました。私たちが、これから生涯にわたって健康で文化的な生活を送っていくためには、これまでに以上に多様な文化的な活動が必要になってきそうです。

このような活動を進めていくための中核的な場として、公民館があります。公民館活動のキーワードは「つどい」「学ぶ」「つなぐ」です。地域の皆様方のつながりを大事にした活動、学校やサークル団

体などと連携した活動、世代を超えて交流しあう活動など長寿化社会に向かって、公民館活動の役割は、ますます大きくなってきます。

私たちは、活動に参加することによって、新しい仲間を得たり、自分の中に眠っていた可能性を発見したりして、自分を新しくしていくことができます。本年も市民の皆様方のご参加と、ご協力によって、公民館活動がますます発展していきますよう、よろしくお願いいたします。



『心づかいに
あふれる地域』

小諸市公民館
館長 松本 文一

市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は公民館をはじめ文化会館・働く婦人の家等文化センターの諸事業に対しご支援、ご協力



を賜り心より感謝申し上げます。

新年を迎えると、「今年一年いい年でありますように」と思わず手を合わせます。ところが、個人の問題というところもありますが、家庭や学校や社会・地域・グループなどでの周りの人との関わりを抜きにしたり、自分が生きていく社会を度外視したりしては

なかなか「いい年」とはなりません。

昨年の公民館まつりの時、女の子が小さな手のひらに50円玉をのせ「落ちていました」と届けてくれました。自動販売機のもとに落ちていた100円玉やお金の入った封筒や財布が落し物として届くこともよくあります。また、文化センターにはプリンターのインクカートリッジの「回収箱」が置いてありますが、先日も入りきらないくらいいっぱいになっていました。使い終わったカートリッジは、ごみとして出してしまえば手間がかからないのに、廃油もそうですが、わざわざ持ってきてくれる方が少なくありません。

ニュース等を観ていると、昔に比べてモラルは低下するし、世知辛い世の中になったと感じることが多くあります。しかし、ここにいるとそんな心づかいにふれ、まだまだ捨てたものじゃないと心が温かくなります。ちよつとした心づかいにあふれ、幸せを感じられる地域づくりのお役にたてるよう努めてまいります。本年も市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



本年もよりよい公民館報がお届けできますよう努めてまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。
公民館報編集委員一同

迎春



報告

小諸市文化会館自主事業

ミュージカル「ブツダ」を開催

11月26日(日)に開催された劇団わらび座によるミュージカル「ブツダ」は、「人間はなぜ生きるのか、なぜ生き続けなければならないのか」との人間の根源的な、哲学的な一生のテーマを手塚治虫氏の原作「ブツダ」により、演じられたものであり500名程の皆様が鑑賞されました。

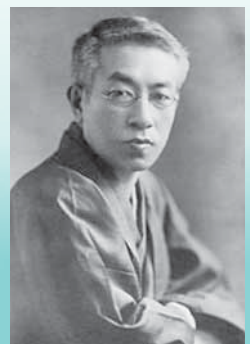
「ブツダ」は、仏教の祖である仏陀が、生きる意味を問い歩き続けていく物語として描かれ、時代と民衆の渦の中でひたむきに生きるその姿は、2500年経った今も十人十色に悩み苦しみながら現代を生きる私たち一人ひとりに、生きるとは何かとの自問自答の時間を与えてくれました。鑑賞された皆様が、改めて「生きることはどのようなことか、人間の幸せはどこにあるのか」を自らに問いかけ、命の大切さお互いを認め合う大らかな心が大切であることを感じたことと思います。

世界中の海岸の一粒一粒の砂が、尽き無くなることであっても、どの時代どの世界でも自分と異なる生活をし、自分と異なる考えを持つ人々がいないことにはないのかもしれない。その中で、いつになったら区別なくお互いの違いを認め合うのかは、私たちに突きつけられている課題です。生きるこの意味を真剣に考える上で、結果だけでなく「どのように生き、自分の周りにいる愛すべき隣人にどのように接すれば良いか」ということの大切さを示唆してくれた「ブツダ」は、大変身に沁みるものであり、多くの感動をいただきました。



第24回 小諸・藤村文学賞 《一般の部 作品募集》

- 作品内容 作品ジャンルは、エッセイ（随筆）に限る
- 募集対象 一般の部
- 入選作品 最優秀賞：1名／優秀賞：2名／佳作：若干名
- 応募方法
 - ・400字詰め原稿用紙A4判又はB4判縦書き（手書きの場合、鉛筆不可）
 - ・原稿用紙10枚程度（上限11枚）
 - ・原稿用紙右側余白に縦書きで「郵便番号・現住所」、次の行に「氏名（フリガナ）・年齢・性別・電話番号」を明記
 - ・応募作品は1人1編で、未発表の作品に限る
 - ※入賞作品著作権は、主催者「小諸市」に帰属し、応募作品の返却はいたしません
- 締切日 平成30年1月31日(水) (当日の消印有効)



▼問い合わせ先 小諸市教育委員会「小諸・藤村文学賞」事務局宛
TEL 22-1700 (内線2281・2283) / FAX 23-8857



『ぼくのかよつてい、こもろようごがつこうでは、まいとしがつに、「しようようさい」があります。そのときに、ぼくの大すきな、こもろようごがつこうのキャラクター「ももりん」がおどったりあいさつをしたりします。ぼくはももりんが本当に大すきで、ももりんが出てくるとワ

小諸養護学校
5年スマイル組

前田 亮馬
まえだ りょうま



ぼくのかよつてい、こもろようごがつこうでは、まいとしがつに、「しようようさい」があります。そのときに、ぼくの大すきな、こもろようごがつこうのキャラクター「ももりん」がおどったりあいさつをしたりします。ぼくはももりんが本当に大すきで、ももりんが出てくるとワ



「ふくろうさんないてる」

クワクします。ももりんとおどると、いつもいじょうにダンスもたのしいです。
そして、しようようさいでは、ほかにも小学部全員が中にわのゆうぐであそぶ時間があります。大きいすべり台、ぶらんこ、コースター、トンネルくぐり…楽しくてあつという間に時間がすぎてしまいます。
この作品は、そんな楽しい「しようようさい」にあわせて作りしました。まずぼくの足がたを使ってふくろうを作りしました。その後に幹や葉っぱをスタンプや指を使ってかきました。おもしろくて、たくさんかきました。ふくろうを木にとまらせる時は、どこにするかまよったから、じつとかんがえこみました。ぜひ、みてください！

第53回児童生徒新年書初め展

市内に居住する児童生徒、市内の学校・書塾へ通学する児童生徒の新年への希望や決意を込めて書いた作品を展示します。

□開催日 平成30年2月2日(金)～2月4日(日)
□時間 午前9時～午後5時
(最終日は午後4時まで)
□会場 乙女湖体育館
(小諸市文化センター内)

入場無料

■お問い合わせ先 小諸市文化センター
児童生徒新年書初め展事務局 ☎23-8880

小諸市星空観望会

冬の夜空を楽しみましょう

小諸高原美術館では、小諸市を一望できる環境を活かし、冬の天体観望会を開催いたします。澄み切った小諸の夜空を再発見してください。

日時 平成30年1月13日(土) 午後7時～9時
場所 小諸高原美術館・白鳥映雪館 東駐車場
【講師】天文同好会「流天」
※雨・曇天の場合は、館内で星空のスライド投影
参加費 無料
対象 小諸市及び近隣の方、どなたでもお越しください。
(中学生以下は保護者同伴・当日参加可能)

主催・お問い合わせ先
小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎26-2070

第19回虚子・こもろ全国俳句大会

作品募集!

■募集部門 一般の部／高校生の部／中学生の部／小学生の部
■応募方法 ・俳句3句1組 雑詠(テーマは自由、本人が詠んだ未発表の句に限る)
・応募用紙または、A4用紙に楷書で記入
・各組毎に「住所・氏名(番号)・年齢・性別・電話番号・作品3句」を記入(小・中・高校生は学校名と学年も記入)
■投稿料 3句1,000円 定額小為替(無記名)または現金書留で作品と投句料を同封
小・中・高校生の部は無料(但し、投句は一人6句まで)
■応募締切 一般の部 平成30年1月10日(水)必着／小・中・高校生の部 平成30年1月15日(月)必着

応募先・応募に関する問い合わせ先
市立小諸虚子記念館 ☎26-3010／小諸市教育委員会 生涯学習課 ☎22-1700



『小諸を選んだ理由』
諸 区 河原 茂さん



「小諸が気に入り移り住みました」とおっしゃる河原茂さん（80歳）。小諸のどんなところが気に入ったのか興味があわき、お話を伺いました。河原さんが生まれ育ったのは京都市。東京の企業に就職されてからは関東地域を中心に、転勤をされてきました。平成10年に新工場の設立に

伴い佐久市に赴任されましたが職場は佐久市でも住むのは小諸と思っていたそうです。学生時代は山岳部員として、度々長野県を訪れ、小諸は山が近く自然環境に恵まれていることを知っていました。仕事で信越線を利用する時は、小諸駅のホームにあった立ち食いそばを楽しんでいました。町並みを見ると、昔ながらのたたずまいが残り、人通りが少なく、地元の人「さびれた町」というがその静かな雰囲気がとても気に入りました。さらに、小諸に永住しようと思決心した理由があります。それは、最初に住んだ紺屋町でのこと。知り合いがいない町に移り住み、奥様は家に引きこもった生活をしていました。そんな時、ご近所の方々が声をかけてくださり、地域の行事に参加するように



140坪の畑で野菜を育てています



『水明の縁側』

なりました。初めて体験する田舎の行事も楽しく、次第に仲間が増え活動の場を広げました。また、河原さんは引越された年からご近所の方の紹介で畑を借り念願の家庭菜園を始めました。紺屋町でご近所の方々の親切に触れ、ますます小諸が気に入りました。紺屋町で2年間生活した後、現在の諸に新居を構えました。小諸に移り住み19年。「小諸に来て人間関係でいやな思いをしたことが無い。」という奥様のお話が印象に残りました。「自分が変わらなければ人は変わらない」をモットーに定年退職後は『水明の縁側』をはじめ、地域、人と人の絆を深める活動やボランティア活動に取り組んでおられます。

編集委員 遠山 厚子

俳句

やまなみ句会

- 秋蒞火星にも風吹いてをり 塩川 正
- 天高く晴れる日を待つ雨つづき 阿部 和
- 身にしむや転んだ先の草むしる 荻原 君江
- 火の山と紫苑の里に育ちけり 榊原 恵
- 大気澄み空のあをさに秋高し 土屋 武子
- 紫苑咲く大きな声で歌ふ会 小栗 富美

短歌

和田短歌会

- 語尾に残る温き言葉を忘れねば 今日夕焼空は明るし 小林 嘉子
- 果てしなき空の深さに背を伸ばす 言葉をもたぬ子とのしあわせ 星野 節子
- 野の道を這へる蔓草紅葉して ころれし種も染まりてをりぬ 出張のみやげにもらいし小苗なり 年経し今も石路は咲く 遠山 静子
- 冬山に変わりてゆくを仰ぎつつ 二本のポールを頼りに歩く 零したる墨跡残る縁にひとり 筆揃へる皺がれし指



敬



老



特



集



2月公民館講座のご案内

申し込み先：小諸市文化センター TEL 23-8880 / FAX 25-2224 / E-mail : bunka@city.komoro.nagano.jp

《くらしの講座》 カンタンおつまみ講座

— 家庭でできる簡単メニューを居酒屋店主が教えます！ —

- ◇開催日 2月8・22日(木)
- ◇開催時間 午前9時30分～11時30分
- ◇場所 料理教室
- ◇定員 25名
- ◇材料費 1回500円
- ◆申し込み期間 1月5日(金)～1月19日(金)



はじめてのパソコン・インターネット冬

パソコンの操作を覚えて、インターネットをはじめよう！

- ◇開催日 2月14・16・21・23日(水・金)
- ◇時間 午後1時30分～3時30分
- ◇場所 図書学習室
- ◇定員 16名
- ◇テキスト代 1,080円
- ◆申し込み期間 1月9日(火)～1月19日(金)



公民館講座のお申込みが

インターネットで、できるようになりました！

新たに小諸市公式サイトで講座の申込受付を開始しました。

公式サイトでは毎月、講座案内を掲載しています。

また、小諸市Facebook・Twitterでも情報発信しておりますのでぜひご覧ください！

お申込みは  

小諸市文化センター

コチラからでも 





小諸市文化会館 1月スケジュール

日時	開演	イベント名	主催者
3日(水)	13:40	小諸市平成30年成人式	小諸市教育委員会 生涯学習課
7日(日)	9:30	小諸市消防出初式	小諸市消防課 消防係
19日(金)	14:00	フォレスタコンサートinこもろ	小諸市文化協会
20日(土)	13:00	J A 佐久浅間役職員大会	J A 佐久浅間
21日(日)	14:00	第11回きらら会こもろニューイヤーコンサート	きらら会
28日(日)	13:30	小諸市消防団音楽隊ふれあいコンサート	小諸市消防団

※各イベント等の問い合わせは、主催者をお願いします

1月予約受付日のお知らせ

【公民館・働く婦人の家】 (貸出備品を含む)	平成30年3月利用予約	平成30年1月4日(木)	受付開始
【乙女湖体育館】	平成30年7月利用予約	平成30年1月4日(木)	受付開始
【文化会館】	平成31年1月利用予約	平成30年1月4日(木)	受付開始

